

設備保全管理業務支援システム「UNIVEAM4」リリースについて

日鉄テックスエンジ株式会社(代表取締役社長: 小野山修平、本社: 東京都千代田区丸の内、以下「当社」)では、設備保全管理業務を支援するシステムとして高い評価をいただいている UNIVEAM の新バージョンアップ製品「UNIVEAM4」を 2024 年にリリースし、2025 年より提供各社にて本格導入しております。



当社は、1985 年パソコンを利用した設備メンテ実績管理システムの販売を開始いたしました。「UNIVEAM」は、製造設備、ファシリティ設備、公共設備など多様な設備に対し、その機能を維持するとともに信頼性の向上を図る設備保全管理業務を支援するシステムです。PDCA サイクルに基づく合理的な設備保全管理業務を支援するシステムとして高い評価をいただいております。鉄鋼、自動車、化学、ゴム、電力、鉄道等、各種業界のリーディングカンパニーをはじめ、多くのユーザー様にご採用いただいております。

当社では、今後も改良を重ね、当該分野でのリーディングカンパニーとしてみなさまに求められるシステムを提供してまいります。

記

1. 「UNIVEAM」機能・特徴・導入効果

設備価値の維持やライフサイクルコストの低減を実現可能なシステム

○設備管理機能

機器管理、故障管理、工事管理、点検管理、潤滑管理、部品管理、循環品管理、予算管理、懸案管理
作業依頼、修理札、安全指示、機器マップ、日報、申請・承認など

○システムの特徴

- ①TBM(時間基準保全)、CBM(状態基準保全)を含めた計画保全、PDCAに基づく管理を推進できます。
- ②ユーザー様にて管理項目の追加/変更、画面/帳票の追加/変更を容易に行えます。
- ③多言語対応機能を有し、海外工場を含めて社内で統一された保全管理を実現できます。
- ④必要な機能を選択してご導入いただけます。
- ⑤クラウドサービスでもオンプレミスでも、カスタマイズ対応を含めて機能提供できます。

○導入期待効果

- ①突発故障の低減と設備安定稼働、②ノウハウの蓄積と伝承、③コストのミニマム化と均一化
④保全情報の見える化、⑤スケジュール管理による漏れのない保全業務、⑥保全情報の一元化

2. 「UNIVEAM4」の新機能

・全機能スマートデバイスに対応

システムを構成するフレームワークを刷新し、PCだけでなく、タブレット、スマートフォンに対応したことで、保全現場にて UNIVEAM をご活用いただけます。

・見える化機能の強化

設備保全状況のダッシュボード表示および、導入各社様のニーズに合わせた複数リソースからの帳票作成(報告書等)に対応しました。

・コミュニケーション機能強化

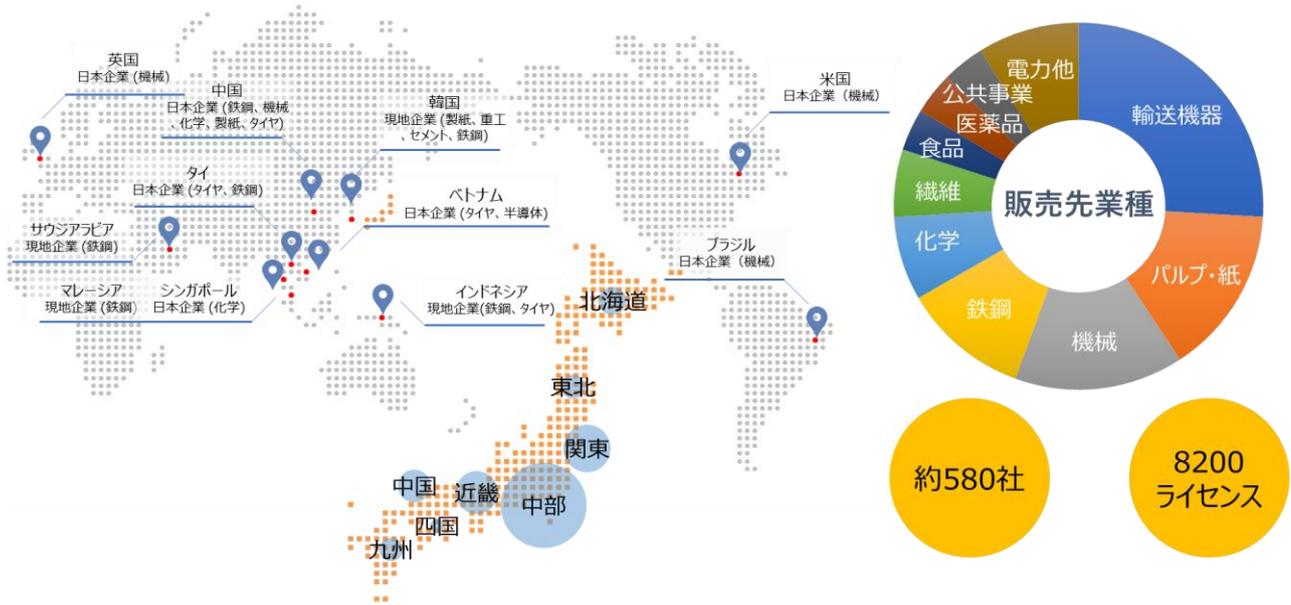
システムからユーザーへの通知、ユーザー間や部門内でのチャット機能に対応しました。忘れ防止や部署/担当者間のスムーズな意思疎通を支援致します。

・安全への取り組み

保全業務での災害・事故防止対策として、安全指示と修理札のマスター管理とそれらの保全作業への紐づけに対応しました。安全な保全作業を支援いたします。

3. 導入実績

当社設備管理システムは、日本国内、各国の多様な業種の企業様 約 580 社、8200 ライセンスの導入実績がございます。



以上